

安心して暮らせる介護基盤の整備

予算額 4,107,244千円
長寿社会室 224-3327

高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加が見込まれる中、高齢者が安心して暮らせる介護基盤の整備を進めていく必要があります。このため、介護人材確保対策を進めるとともに、特別養護老人ホーム等の整備を支援します。また、増加が予想される認知症に対しては、予防から医療・ケア、見守り相談と総合的な対策を進めます。

介護サービス基盤の充実

- ① 介護サービス基盤整備補助金
予算額 1,408,915千円
- ② 介護基盤緊急整備等特別対策事業
予算額 1,965,958千円
- ③ 施設開設準備経費助成等特別対策事業
予算額 677,485千円

特別養護老人ホーム等の整備を支援します。また、介護人材確保対策を進め、施設整備を進めやすい環境を整えます。

- ① 広域型の特別養護老人ホーム、老人保健施設の整備を促進します。
- ② 介護基盤緊急整備等臨時特例基金を活用して、地域密着型特養、認知症グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設を新規整備するとともに、消防法改正に伴って設置が義務づけられた既存施設のスプリンクラー設置を促進します。
- ③ 広域型・地域密着型にかかわらず、施設の開設準備等に要した経費について助成します。

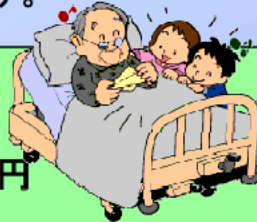
【参考】介護人材確保対策は、介護職員処遇改善交付金事業(予算額1,959,473千円)や、介護雇用プログラム緊急雇用創出事業(予算額467,473千円)などを総合的に推進します。

地域包括ケア体制の支援

- ⑤ 地域包括ケア推進・支援事業 予算額 5,350千円

地域包括支援センターが行う地域包括ケアの取組に対する支援を行うとともに、同センター職員の資質向上のための研修を行います。

* 地域包括ケア・・・高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、高齢者のニーズや状態の変化に応じて必要なサービスを切れ目なく提供すること。



認知症総合対策の推進

- ④ (一部新) 認知症対策研修・支援事業
予算額 49,536千円

認知症に対する総合的な支援体制を一層強化するとともに、新たに若年性認知症対策として、支援窓口の設置や、自立支援に資する生活指導等を行う事業所をモデル事業所として選定し、その取組を支援します。

